

## 名古屋大学大学院国際開発研究科 教員公募

1. 職名・人員 名古屋大学大学院国際開発研究科「経済開発政策・マネジメント」学位プログラム担当教授 1名, 准教授または講師 1名
2. 担当分野・科目 担当科目：大学院科目（英語講義科目）
  - 1) 以下のプログラム必修科目のどちらか一つを担当 [春学期 1 5回]
    - 「開発マクロ経済学」(マクロ経済学の基礎を前提に開発のコンテキストで実施)
    - 「開発ミクロ経済学」(ミクロ経済学の基礎を前提に開発のコンテキストで実施)
  - 2) 以下のプログラム選択(必修)科目の内二つ(隔年開講)または一つ(毎年開講)を担当 [秋学期 1 5回]
    - 「開発金融論」(開発の内部・外部金融, 金融セクター改革, 開発のための金融政策等)
    - 「公共財政管理」(収入・支出改革, 債務管理, 開発のための財政政策等)
    - 「産業開発」(産業政策, 中小企業振興, 起業家・企業家育成等)
    - 「プロジェクト評価論」(開発プロジェクトの評価理念と評価方法等)
  - 3) 以下のプログラム必修演習(ゼミ)
    - 「経済開発政策・マネジメント演習Ⅰ・Ⅱ」[通年]  
(修士論文および博士論文の研究指導を担当)
  - 4) 以下の研究科共通科目(オムニバス講義科目)のどちらかで年1回講義を担当
    - 「国際開発入門」[春学期]または「日本の開発経験」[秋学期]

担当科目：全学教育科目(原則として日本語講義科目)

  - 5) 以下の学部科目のどちらかを担当[3年間で2学期担当が標準]
    - 「国際開発学(文系基礎科目)」または「開発の光と影(文系教養科目)」  
(それぞれ春学期または秋学期)

(名古屋大学大学院国際開発研究科は1991年に、異文化尊重の精神に基づき、開発途上国の開発および国際協力に関する研究と専門家養成を行うことを目的として創設された学部を持たない独立大学院です。留学生が在籍学生の半数以上を占め、講義・ゼミ等は全て英語で実施されています。「経済開発政策・マネジメント」学位プログラムでは、理論・実証・実践のバランスの取れた研究・教育を展開し、多くの開発エコノミスト、国際経済開発協力人材、途上国行政官・大学教員等の国家中枢人材を輩出してきており、世界に卒業生のネットワークを構築しています。狭い専門領域にとどまらず、他分野の研究者・実務家との協働をいとわず、経済開発を広義の開発の中での的確に捉え、世界の経済開発ニーズ、バランスの取れた開発エコノミスト育成ニーズに呼応しつつ教育研究および社会貢献に取り組む、進取の気性に富む人材を求めています。)
3. 応募資格
  - 1) 経済学または関連分野の博士学位を有し、経済開発に関する博士学位論文の指導能力を有する者
  - 2) 英語による講義・学生指導を行い得る者(日本語による講義能力はプラスだが必須ではない。)
  - 3) 担当分野または関連分野における教育経験を有することが望ましい。
  - 4) 担当分野に関して開発途上国での調査研究または実務経験を有する者
  - 5) 国籍は問わない。ただし、外国人の場合は日本語による最低限の事務能力を有する者
  - 6) 科学研究費補助金等の外部競争的研究資金を獲得し、国際的な共同研究を実施する意欲と能力を有する者。国際共同研究への参加実績を有することが望ましい。
4. 応募書類
  - 1) 履歴書(A4サイズ, 写真貼付, 書式は自由。国籍, 生年月日, E-mailアドレスを記入のこと。)(和文または英文)
  - 2) 研究業績一覧(提出する5点の業績にマークをつけること)(和文または英文)

- 3) 主要著書・論文（合計5点まで。別刷,コピーも可）
- 4) 国際開発研究科における教育, 研究指導に関する抱負（和文3, 000字程度, または英文1, 000語程度）
- 5) 経済開発に関する研究関心と将来の研究計画（和文3, 000字程度, または英文1, 000語程度）
- 6) 担当科目「開発マクロ経済学」または「開発ミクロ経済学」の1科目, および, 「開発金融論」, 「公共財政管理」, 「産業開発」, 「プロジェクト評価論」のうち担当希望の2科目（または1科目）についての講義シラバス案（講義の目的, 講義の概要, 15回の講義予定, 教科書・参考書について, それぞれ英文A4版2ページ程度）
- 7) 上記1)～6)の書類をそれぞれ5部作成すること。応募書類は原則返却しません。返却を希望する場合は, 返信用封筒を同封のこと。切手貼付または受取人払いであることを明記すること。

※ 提出書類は, 本選考のためだけに使用します。

5. 応募期限 平成29年9月29日（必着）
6. 採用予定 平成30年4月1日（原則として）
7. 選考方法
  - 1) 第一次審査 書類審査
  - 2) 第二次審査 面接（英語による模擬授業を含む）。10月中旬から下旬  
面接のための旅費は支給しません。
8. 応募書類送付先 〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学大学院国際開発研究科長 伊東早苗 宛  
**封筒に「経済開発プログラム担当教員応募書類在中」と朱書き, (簡易)書留郵便で送付してください。海外からの発送は発送記録の残る方法で送ってください。**
9. 問合せ先 名古屋大学大学院国際開発研究科 経済開発政策・マネジメントプログラム代表 大坪滋  
E-mail:sotsubo@gsid.nagoya-u.ac.jp  
研究科(GSID) HP: <http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/global/index-en.html>  
旧プログラムHP: [http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/sotsubo/index\\_EDPAM.html](http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/sotsubo/index_EDPAM.html)  
新プログラムカリキュラム案:  
[http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/sotsubo/EDP&M\\_CurriculumPlan\\_20170601.pdf](http://www.gsid.nagoya-u.ac.jp/sotsubo/EDP&M_CurriculumPlan_20170601.pdf)  
電話による問合せには応じません。